



西川 弘さん



被後見人とハイタッチ

西川 弘

リタイヤ後、北海道難病連の役員から市内のボランティア活動へとシフト変更をしました。

13人目

市民貢献人

会報

苫小牧市後見支援員等連絡会
発行人：三河敏規
TEL 32-7111
FAX 34-8141

西川 弘氏成年後見人受任

令和元年12月27日付、札幌家庭裁判所苫小牧支部から西川弘氏に成年後見人選任審判が特別送達されました。
市民後見人は今年度5人目、総人数は13人です。

心臓リハビリを行い

西川弘氏は平成28年度受講生(第2期生)で苫社協が道内初のモデル事業として始めた日常生活自立支援事業(旧権利擁護事業)に当初から携わったベテラン支援員です。

市民後見人受任件数:15件
令和2年1月10現在

生活支援員を3年間させて頂き、その後市民後見人の養成研修を受講修了した頃、3年間生活支援をさせて頂いた利用者さんから電話があり、今から2年前の9月23日訪問している時に急性心筋梗塞を発症してしまいました。原因は脱水症が引き金と思いますが、その2日前には、保健センターでトレーニングをして汗を流していたのに、なぜ?と思いました。
もしも、元利用者さんから電話が無かったら、元利用者さんのケアハウスの発症でなかったら、自宅マンションで冷たくなっていたと思います。
現在は、後見支援員を1年間させて頂いていますが、その利用者さんは、脳出血で半身マヒと失語症を発症されました。顔の表情、目の開閉、握手のみが会話の手段です。いつのまにか、今は利用者さんの笑顔をみる訪問の日が楽しみとなりました。後見支援員の1年経過後、家庭裁判所で初めての面接が12月中旬に行われました。本当に長い2時間でした。
私自身は難病患者で、人工肛門・人工関節等と市内では例のない障がい者ですが、2019年12月末に後見人に選任されました。週2回の心臓リハビリを行い、訪問日には被後見人の方とハイタッチが出来るように健康第一を心掛けて前進してまいります。追伸 皆様脱水症を起こさないためにも水分補給を忘れられないように願います。



第6期生

市民後見人養成研修始まる

苦小牧市成年後見支援センターでは、1月14日(火)市民後見人養成研修が始まりました。(第6期生)

養成研修は今後3月10日までの2月11日を除く毎週火曜日、延べ8回の座学と実習2回で合計10回50時間の講座が組まれています。

今回の養成研修は平成26年度から数えて(27年度は未実施・今年度は2回目の開催)6回目となります。従って、3月10日の修了式を迎えると修了者は第6期生となります。

養成研修初日に参集したのは社会貢献に高い志を抱いた女性6名、男性4名の

合計10名です。(厚真町と安平町各1名が広域参加)

オリエンテーションの後、に始まった初日の講義は、市民後見概論と成年後見制度概論、及びその各論。まために受講生相互の交流を兼ねてグループワークを行いました。2日目以降は、各種福祉制度や認知症高齢者、精神・知的障がい者の理解と対応、後見制度の実務と後見人の倫理性ほか、厳寒の時期と相まって過酷な試験は続きます。

研修生各位には体調管理と凍結路面での転倒や交通事故に十分に留意され、晴れの修了式当日には誰一人欠けることのないよう衷心よりご祈念申しあげます。

新年交流会 2/21(金)PM6:00~8:00 ・参加者募集中